

事業所名 ぽーちゅらか

支援プログラム

作成日

令和7 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念		ぽーちゅらかの花言葉は「むじゃき」「いつも元気」。お子様がむじゃきに、いつも元気に過ごすことができる場所となります。					
支援方針		“できた”という経験を積み重ねることで、自信に繋ぎ、チャレンジする気持ちを育てます。 日々の生活や遊びの中で表現する力、自立の力を育て、未来へつなぎます。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・ 来所時の健康チェックとご家庭との情報共有により、健康状態の維持・改善を図ります。 ・ お支度の時間は、一貫した指示により生活動作を繰り返すことで、基本的生活スキルの獲得を促します。					
	運動・感覚	・ 集団プログラムの中で感覚あそびや運動あそびを取り入れ、楽しい！面白い！の中で、発達の土台を育みます。 ・ 個々の感覚の特性による困りごとや運動の苦手さを把握し、支援に反映させます。					
	認知・行動	・ 【はじまりとおわり】【順序だて】を視覚的に明示したり、簡単なルールを繰り返し体験したりすることを通して、行動の基礎となる認知機能を育みます。 ・ “できた”経験を繰り返すことで自信をはぐくみ、自己肯定感を高めます。					
	言語 コミュニケーション	・ コミュニケーションの原動力となる【伝えたい気持ち】を育て、ご本人の特性や発達段階に応じた【伝える手段】を育むことを大切にしています。 ・ 集団場面において【双方向のやりとり】を大切に、【伝わる】経験を積み重ねます。					
	人間関係 社会性	・ 事業所を安心して過ごせる場所として捉え、遊びの中で社会性が促進できるよう支援します。 ・ 好ましくない行動には職員がモデルを示し、真似をすることで好ましい行動を促します。					
家族支援		・ 送迎時や連絡帳を通して日々の様子を共有します。 ・ 必要に応じて面談を行い、他機関と連携して対応を考えます。		移行支援		・ 保育所等の併行利用先との連携をこまめに行います。 ・ ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けて、他事業所との連携や情報交換を行います。	
地域支援・地域連携		・ 日常的に関係機関と情報共有を行い、必要に応じて情報共有のための会議に参加をすることで連携体制の確保に努めます。		職員の質の向上		・ 事業所内外の研修に参加し、自己研鑽に努めています。 ・ ヒヤリハットを職員に周知し、原因を究明するとともに再発防止に努めます。	
主な行事等		例) ・ ペインティング ・ セタ祭り ・ 夏祭り ・ ハロウィンパーティー ・ クリスマス会 ・ 初詣 ・ 節分 ・ ひなまつり会 ・ 外出（公共施設、公園など）					